

ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト チャンピオンシップ大会競技規約

2005 年度 1.2 版

本書は、UML ロボットコンテストを継承した、ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト（略称：ET ロボコン）のチャンピオンシップ大会向けの競技規約書です。ET ロボコン競技規約からの差分のみ掲載されていますので、そちらも併せてご覧下さい。

2005 年 9 月 1 日

ET ロボコン技術委員長 大庭 慎一郎

競技種目

ET ロボコン 2005 チャンピオンシップ大会では、ショートディスタンス（以下ショート）1 種目のみを競技として実施します。競技の審査対象はタイムのみでモデル審査はありません（会場に前大会の入賞チームのモデルは掲示します）。ショートのコースレイアウトは前大会と同じですが、タイム計測の方法が変更されています。

タイム計測

走行タイムはアウトコースとインコースをそれぞれ 2 周ずつ走行した計測タイムの合計で計算されます。完走できなかったコースの走行タイムは 2 分 00 秒（制限時間と同値）として計算されます（これを「リタイアタイム」と呼びます）。

最終的な審査対象は、走行タイムから「ボーナスタイム」と呼ばれる値を減算したタイム「リザルトタイム」になります。ボーナスタイムは以下の表で定義されます。

表 1 ボーナスタイム設定

ボーナス対象	ボーナスタイム
中間ゲート通過	5 秒
ゴールゲート通過 *1	5 秒
オフロード走破 (インコースショートカット)	10 秒
ゴール後停止 *2	5 秒

*1 スタート直後のゴールゲート通過は対象外

*2 コースを 2 周してゴールした後に、ゴールゲート以降 50cm 以内のコース上で停止できた場合

各ボーナスタイムはコースを完走しなくても取得することができます。例えば1周目の中間ゲート通過後にリタイアしてしまった場合、リタイアタイムから5秒を減算した1分55秒が、そのコースのリザルトタイムになります。普通に2周完走できた場合には、中間ゲートとゴールゲートをそれぞれ2回通過していることになり、コースの走行タイムから合計20秒のボーナスタイムを減算したタイムが、そのコースのリザルトタイムになります。

インコースの場合、最大45秒（中間ゲート、ゴールゲート、オフロードをそれぞれ2回通過し、ゴール後停止）のボーナスタイム取得できることになり、リザルトタイムが0やマイナスになる可能性があります、そのまま結果として利用します。

表彰

リザルトタイムの合計が少ない上位3チームが表彰の対象となります。

さらに特別賞として、走行パフォーマンスに優れたチームや印象に残ったチームが数チーム表彰されます。

その他のルール

その他のルールは「ETロボコン2005競技規約」に従います。